

様式第6号の2

1 1. 事故原因の詳細 (後日提出)

発生原因	人的要素		物的要素		管理的要素	
	ハンドル操作のミス 普段使用する基地ではなかった。(未熟練)バック誘導する位置が悪い。(上部も確認できる位置)		飯田薬剤庫は車輛バック時助手席側ギリギリに昇降設備がある。		入庫前に車輛を倉庫前に付ける際、ほぼ直線でバックできる位置に付けていなかった。	
	原因評価 (◎ ○ △)	◎	原因評価 (◎ ○ △)	○	原因評価 (◎ ○ △)	○

※ 原因評価：事故との関連性 重大=◎ 中程度=○ 軽度=△



【人的要素に基づくヒューマンエラー要因】

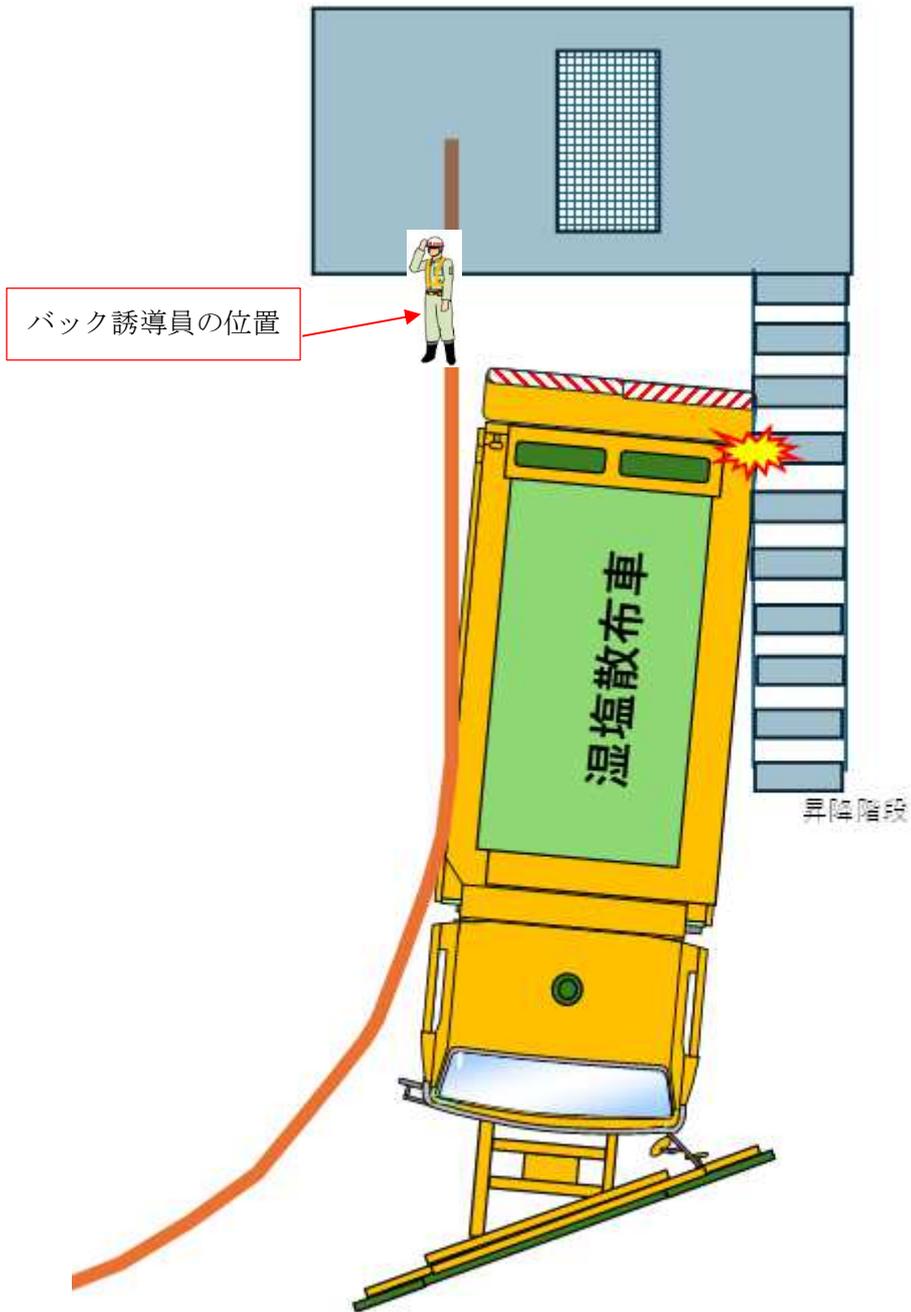
※ 事故原因と考えられる人的要素に○印をつける。(複数可)

H 1	無知 未熟練 経験不足 教育不足
H 2	危険軽視 慣れ 悪習慣 集団欠陥
H 3	近道本能 省略本能 能率本能
H 4	場面行動本能 (1点に集中して周囲の状況が見えなかった)
H 5	緊急時のあわて パニック状態
H 6	外的要因錯覚 (見間違い、聞き違い等) 内的要因錯覚 (思い込み等)
H 7	中高年齢者の機能低下
H 8	疾病 疲労 体質 急性中毒等
H 9	単調反復動作による意識レベルの低下

1 2. 事故対策

再発防止対策	人的要素	物的要素	管理的要素
	ほぼ直線でバックできる位置に車両を付ける。運転席側後方と助手席側後方を交互にミラーで確認しながら徐行でバックする。危ないと思ったら止まって確認。	誘導線通りにバックすれば当たらない。接触箇所にテープを貼り注意喚起する。	入庫前に車輛をほぼ直線でバックできる位置に付ける。アラウンドビューモニターの設置を保全へ要望する。

※ 対策内容の説明資料を添付すること。



バック誘導員の位置



メンテ事務所（緊急安全大会）実施

各基地運転手からヒアリングを実施

